

第三者評価結果入力シート（情緒障害児短期治療施設）

種別	情緒障害児短期治療施設
----	-------------

①第三者評価機関名

一般社団法人 静岡県社会福祉士会

②施設名等

名称：	静岡県立吉原林間学園
施設長氏名：	平岡 篤武
定員：	50人 男子30人 女子20人
所在地(都道府県)：	静岡県
所在地(市町村以下)：	富士市大淵2781
T E L：	0 5 4 5 - 3 5 - 0 0 7 6
U R L：	

③実施調査日

開始日	平成 25年 11月 14日（木）
評価結果確定日	平成 26年 2月 28日（金）

④総評

◇特に評価が高い点

- ・マンパワーが恒常的に不足している中で、職員は子どもたちに忙しさを見せず、あらゆる場面で、子どもたちにわかりやすい言葉や様々な方法を用いて寄り添いながら、指導、治療を行っています。
- ・施設は改築直後に入所の対象者が小学生単独から中学生を含む体制に変更し、大幅に使用計画も変更になり、また、近年は対象の子どもの様子も不登校の子どもから、虐待を受けている子どもに変化しているが、ハード面でも不具合や危険となった箇所を手直しを行い、様々な工夫をして子どもの安全を確保しています。
- ・それぞれの子どもの状態について、毎日、職員は丁寧な検討を繰り返し、情報が共有され、記録も丁寧に記載され、評価、検討しやすいものになっています。

◇改善が求められる点

- ・地域の社会的ニーズに応えるまでの余裕が持てないでいます。今後、職員の専門性を生かして、子どもが重篤な状態に至らない時点での子育て支援など、多くの要望に応じていくことを期待します。
- ・ハード面では施設は30年前に不登校児の対応を中心に建てられましたが、現在は被虐待児の対応となり、児童に合っていない為、非効率な部分が多く、より職員の手を要す状態が見られ、早期に建物の改善が求められます。
- ・子どもの居室の片づけや、自主学習に寄り添えるスキルを持ったボランティアの育成と活用が求められます。

⑤第三者評価結果に対する施設のコメント

・私たち職員は、忙しい日常業務の中でも、子どもやご家族の気持ちに思いをめぐらせ、通じ合うコミュニケーションを目指して支援を進めたいと努力しています。その点を評価していただいたことをとてもありがたく思います。

・半面、社会的ニーズに応えることが求められているというご意見をいただいたことについては、真摯に受け止め、他施設への技術支援や研修企画に予防的観点を加味して内容を再検討したいと思います。

・建物の改善については、県庁子ども家庭課と協議し、可能な限り速やかに解決するよう努めたいと考えております。

・ボランティアの育成及び活用については、人材育成、人員確保、地域交流など様々な面から、取り組む価値の高い事業だと思います。大学等と連携をとるべく、具体的な手立てを探りたいと思います。

⑥第三者評価結果（別紙）

第三者評価結果（情緒障害児短期治療施設）

1 治療・支援

(1) 治療	算 評
<p>① 子どもに対して適切な心理治療を行っている。</p> <p><input type="checkbox"/>心理治療支援を必要とする子どもについては、自立支援計画に基づきその解決に向けた心理治療方針が策定されている。</p> <p><input type="checkbox"/>心理治療方針において個別・具体的方法が明示されており、その方法により心理治療支援が実施されている。</p> <p><input type="checkbox"/>個々の子どもに心理治療担当者を決め、定期的かつ必要に応じて心理療法などを実施している。</p> <p><input type="checkbox"/>心理治療支援を必要とする保護者に対して担当者を決め、定期的かつ必要に応じてカウンセリングなどの心理治療支援を実施している。</p> <p><input type="checkbox"/>心理治療を行う際、子どもと保護者にインフォームドコンセント（説明と同意）に努めている。</p> <p><input type="checkbox"/>集団によるコミュニケーション活動及び表現活動を必要に応じて実施している。</p>	

	<input type="checkbox"/> 必要に応じて心理検査などにより、治療効果について評価している。	
	<input type="checkbox"/> 外部の関係機関によるスーパービジョンを必要に応じて受けている。	○
	<input type="checkbox"/> 治療的な観点から集団活動など活動を控えさせるなど特別な対応を行う場合は、権利侵害に当たらないか十分に職員間で吟味し、子ども、保護者及び児童相談所等へ目的、対応の内容、予想される期間等を明示し、同意をとるようにしている。	○
②	子どもの心身の状況や、生活状況を把握するため、手順を定めてアセスメントを行い、子どもの個々の課題を具体的に明示している。	a
	<input type="checkbox"/> 把握した子どもの心身の状況や生活状況等の情報を、総合的に分析、検討した課題を適切に把握し、施設が定めた統一した様式によって記録している。	○
	<input type="checkbox"/> アセスメントの定期的見直しの時期と手順を定めている。	○
	<input type="checkbox"/> 部門を横断した様々な職種の関係職員（種別によって組織以外の関係者も）が参加して、アセスメントに関する協議を実施している。	○
	<input type="checkbox"/> 子ども一人一人の具体的なニーズが明示されている。	○
	<input type="checkbox"/> 様式の中には、子どもの強みや長所など伸ばすことも記載している。	○
	<input type="checkbox"/> アセスメントは、必要に応じて医学的、心理学的、社会学的な観点からスーパービジョンを受けている。	○
③	心理治療は、自立支援計画に基づき子どもの課題の解決に向けた心理治療方針を策定している。	a
	<input type="checkbox"/> 子どもの課題が明確に自立支援計画に記されている。	○
	<input type="checkbox"/> 子どもの課題に対する心理治療方針が自立支援計画に記されている。	○
	<input type="checkbox"/> 心理治療方針は子どもや保護者への説明と同意を得ている。	○
	<input type="checkbox"/> 必要に応じて、医学、心理学などの専門家から直接的支援を受ける体制を整えている。	○
④	ケース会議を必要に応じて実施している。	a
	<input type="checkbox"/> 定期的にケース会議が開かれている。	○
	<input type="checkbox"/> なるべく全ての子どもが対象となるように会議が開かれている。	○
	<input type="checkbox"/> 必要に応じて外部のスーパーバイザーの参加を求めている。	○

(別紙)

第三者 評価結 果
a
○
○
○
○

	<input type="checkbox"/> ケース会議には、心理療法担当職員、児童指導員や保育士、医師のほか、必要に応じて児童相談所、学校の関係者の参加を求めている。	(
⑤	<p>医師による治療が必要な子どもに対する適切な治療及び職員の支援を実施している。</p> <input type="checkbox"/> 医療的ケアの必要な児童に対して定期的かつ必要に応じて児童精神科医等の診療を実施している。 <input type="checkbox"/> 医師の受診、治療に際しては、保護者及び児童相談所等に同意をとっている。 <input type="checkbox"/> 緊急時等に対して医師を中心にチーム対応できる体制が確保されている。 <input type="checkbox"/> 重篤なケース等については医師を中心にチームを編成し、治療や支援を実施している。 <input type="checkbox"/> 児童に対する心理治療支援等について医師による職員のスーパービジョンや研修を行い、生活・心理治療など各部門の職員とともに心理治療計画の策定・見直しを行っている。 <input type="checkbox"/> 入院治療が必要になる場合に備え、外部の医療機関と連携し、必要に応じて話し合い等を行っている。)

(2) 生活の中での支援

①	<p>子どもと職員との間に信頼関係を構築し、常に子どもの発達段階や課題に考慮した支援を行っている。</p> <input type="checkbox"/> 子どもに対する受容的・支持的かわりを心がけている。 <input type="checkbox"/> 個々の子どもの気持ちをくみ取っている。 <input type="checkbox"/> 職員と子どもが個別的にふれあう時間を確保している。 <input type="checkbox"/> 子どもからの相談を引き出せるように働きかけを意識的に行っている。 <input type="checkbox"/> 子どもに問題行動等があった場合、単にその行為を取り上げてしめるのではなく、背景にある心理的課題の把握に努めている。 <input type="checkbox"/> 個々の子どもの状況に応じて、日課は柔軟に対応できる体制となっている。 <input type="checkbox"/> 子どもの生活を束縛するような管理や操作をしていない。)
②	<p>子どもの協調性を養い、社会的ルールを尊重する気持ちを育てている。</p> <input type="checkbox"/> 普段から、職員が振る舞いや態度で模範を示している。)

○	□施設生活・社会生活の規範等守るべきルール、約束ごとを理解できるよう子どもに説明し、責任ある行動をとるよう支援している。	○
b	□施設生活を通して他者への心づかいや配慮する心が育まれるよう支援している。	○
○	□地域社会への積極的参加を図る等、社会的ルールを習得する機会を設けている。	
○	□施設のルール、約束ごとについては、話し合いの場が設定されており、必要に応じて変更している。	
	③ 多くの生活体験を積む中で、子どもがその課題の自主的な解決等を通して、子どもの健全な自己の成長や問題解決能力を形成できるように支援している。	b
	□施設生活において多種多様な経験を積むような機会(自然体験、職場実習等)を計画している。	○
○	□生活日課等の中に、生活体験(創作活動など)を通して、ものごとを広い視野で具体的総合的にとらえる力や、豊かな情操が育まれるような活動が組み込まれている。	
	□つまずきや失敗の体験を大切に、自主的な問題の解決等を通して、自己肯定感などを形成し、たえず自己を向上発展させるための態度が身につけられるよう支援している。	○
	□問題の解決に当たって、謙虚に他から学び、他と協力していける力量や態度を形成できるようグループ活動などを取り入れ支援している。	
a	(特に評価が高い点、改善が求められる点) ・アセスメントを生かした自立支援計画の作成、横断的なケース会議、月例報告等、子どもの状態把握に努め、実行している。 ・子どもを主体としてとらえ、関係性の構築を図っている。理念に基づいた支援の中で信頼関係の構築を図っている。	
○	(改善が求められる点) ・子どもの特性に配慮しながら、問題解決能力の形成を目指した話し合いや、ルール作りを支援したり、生活が施設内完結型のため、子どもたちが多くの社会経験を通して、社会とのつながりをより強く感じられる養育環境の提供が求められる。	
○		
○		
○		
b	(3) 食生活	第三者評価結果
○	① 食事をおいしく楽しく食べられるよう工夫し、栄養管理にも十分な配慮を行っている。	b

	<p><input type="checkbox"/> 食事場所は明るく楽しい雰囲気、常に清潔が保たれている。</p> <p><input type="checkbox"/> 温かいものは温かく、冷たいものは冷たくという食事の適温提供に配慮している。</p> <p><input type="checkbox"/> 陶器の食器等を使用したり盛りつけやテーブルの飾りつけの工夫など、食事をおいしく食べられるように工夫している。</p> <p><input type="checkbox"/> 子どもの年齢、障害のある子ども等の個人差や子どもの体調、疾病、アレルギー等に配慮した食事を提供している。</p> <p><input type="checkbox"/> 好き嫌いをなくす工夫や偏食支援については、無理が無いよう配慮し実施している。</p> <p><input type="checkbox"/> 定例的に子どもの嗜好や栄養摂取量を把握し、献立に反映させている。</p> <p><input type="checkbox"/> 生活支援担当職員と給食担当職員との定例的な連絡会議を開催し、食生活の向上などに努めている。</p> <p><input type="checkbox"/> 研修会や講習会に参加し、技術の向上に努めている。</p> <p><input type="checkbox"/> 栄養士を中心に、日々提供される食事内容や食事環境に十分に配慮するとともに、子どもに対する献立の提示等食に関する情報提供を行っている。</p>	
②	<p>子どもの生活時間にあわせた食事時間の設定を含め、子どもの発達段階に応じて食習慣を習得するための支援を適切に行っている。</p> <p><input type="checkbox"/> 朝食、昼食、夕食それぞれの食事時間が子どもの基本的な生活習慣の確立につながるよう設定されている。</p> <p><input type="checkbox"/> クラブ活動等子どもの事情に応じて、食事時間以外の時間でも個別の食事を提供している。</p> <p><input type="checkbox"/> 電子レンジや保温庫、保冷庫等を用意し、食事時間以外にもおいしく食べられるよう配慮している。</p> <p><input type="checkbox"/> 無理なく楽しみながら食事ができるように、年齢や個人差に応じた食事時間に配慮をしている。</p> <p><input type="checkbox"/> 子どもが日々の食生活に必要な知識及び判断力を習得し、基本的な食習慣を身につけることができるよう食育を推進している。</p> <p><input type="checkbox"/> 食事の準備、配膳、食後の後片付けなどの習慣や簡単な調理など基礎的な調理技術を習得できるよう支援している。</p> <p><input type="checkbox"/> 郷土料理、季節の料理、伝統行事の料理などに触れる機会を持ち、食文化を継承できるようにしている。</p> <p><input type="checkbox"/> 外食の機会を設け、施設外での食事を体験させている。</p> <p><input type="checkbox"/> 箸、ナイフ・フォーク等食器の使い方や食事のマナーが習得できるよう支援している。</p>	

(4) 衣生活

<input type="radio"/>	① 衣服は清潔で、体に合い、季節に合ったものを提供している。	a
<input type="radio"/>	<input type="checkbox"/> 常に衣服は清潔で、体に合い、季節に合ったものが着用されるよう提供している。	<input type="radio"/>
<input type="radio"/>	<input type="checkbox"/> 年齢に応じて、TPOに合わせた服装ができるよう配慮している。	<input type="radio"/>
<input type="radio"/>	<input type="checkbox"/> 毎日取り替える下着や、汚れた時などに着替えることができる衣類が十分に確保されている。	<input type="radio"/>
<input type="radio"/>	<input type="checkbox"/> 生活場面や活動場面に応じて着替えることのできる衣類を提供している。	
<input type="radio"/>	② 子どもが衣習慣を習得し、衣服を通じて適切に自己表現できるように支援している。	a
<input type="radio"/>	<input type="checkbox"/> 気候、生活場面、汚れなどに応じた選択、着替えや衣類の整理、保管などの衣習慣を習得させている。	<input type="radio"/>
<input type="radio"/>	<input type="checkbox"/> 個々の収納スペースを確保するなど、「自分の服である」という所有感を持てるようにしている。	<input type="radio"/>
b	<input type="checkbox"/> 発達段階や好みに合わせて子ども自身が衣服を購入できる機会を設けている。	<input type="radio"/>
<input type="radio"/>	<input type="checkbox"/> 発達段階に応じて、衣服の着脱、整理整頓ができるよう支援している。	<input type="radio"/>
<input type="radio"/>	<input type="checkbox"/> 発達段階に応じて、洗濯、アイロンかけ、補修等衣服の自己管理ができるよう支援している。	
<input type="radio"/>	<input type="checkbox"/> 衣服を通じて子どもが適切に自己表現をできるように支援している。	<input type="radio"/>

(5) 住生活

<input type="radio"/>	① 居室等施設全体を、生活の場として安全性や快適さに配慮したものにしている。	b
<input type="radio"/>	<input type="checkbox"/> トイレ、洗面所等は性別や年齢に応じて使いやすいように配慮している。	<input type="radio"/>
<input type="radio"/>	<input type="checkbox"/> 必要に応じて、冷暖房設備を整備している。	<input type="radio"/>
<input type="radio"/>	<input type="checkbox"/> 子どもが私物を収納できるよう、個々にロッカー、タンス等を整備している。	<input type="radio"/>
<input type="radio"/>	<input type="checkbox"/> 日常的な清掃を行い、軽度な修繕を迅速に行っている。	<input type="radio"/>

	<input type="checkbox"/> 居室の清掃をはじめ、施設内外の保健的環境の維持及び向上に努めている。
	<input type="checkbox"/> くつろげる空間を確保するように努めている。
	<input type="checkbox"/> 必要に応じていつでも入浴やシャワーが利用できるようになっている。
②	<p>発達段階に応じて居室等の整理整頓、掃除等の習慣が定着するよう支援している。</p> <input type="checkbox"/> 居室の整理・整頓、掃除の習慣を身につけられるよう支援している。
	<input type="checkbox"/> 洗濯、ふとん干し、各居室のごみ処理の習慣を身につけられるよう支援している。
	<input type="checkbox"/> 戸締り、施錠の習慣を身につけられるように支援している。
	<input type="checkbox"/> 建物や設備の軽度な破損について、簡単な修理を体験できるように配慮している。
<p>(特に評価が高い点、改善が求められる点)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・衣習慣については、こだわりや過敏等が見られる中で子どもの特性に合わせた着衣ができてい ・基本的には衣服については家庭からの持ちこみだが、年齢に合わせたものである。 ・食事に関しては栄養面の管理がなされ、季節に合わせた食事内容である。(例 七草粥) ・住生活では死角の解消、小さなスペースの確保や生活の場の確保は子どもの状態に合わせた改 <p>が行われている。</p> <p>(改善が求められる点)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・施設については老朽化が目立ち、安全、快適さについては一考を要す。 	

(6) 健康と安全		録 計
①	<p>発達段階に応じ、身体の健康(清潔、病気、事故等)について自己管理ができるよう支援している。</p> <input type="checkbox"/> 常に良好な健康状態を保持できるよう、睡眠、食事摂取、排泄等の状況を職員がきちんと把握している。	

b
○
○
ている。
た改修等
第三者 評価結 果
b
○

<input type="checkbox"/> 排泄後の始末と手洗いの支援をしている。	○
<input type="checkbox"/> 夜尿について、適切な対応に努めている。	○
<input type="checkbox"/> うがいや手洗いの習慣を養うように支援している。	○
<input type="checkbox"/> 寝具の日光消毒や衣類などを清潔に保つなど、健康管理ができるよう支援している。	
<input type="checkbox"/> 洗面、歯磨き、入浴時に体や髪を洗うことなど清潔を保つための支援を行っている。	○
<input type="checkbox"/> 整髪、ひげそり等身だしなみについて、発達に応じて自力行えるよう支援している。	
<input type="checkbox"/> 定例的に理美容をしている。	
<input type="checkbox"/> 子どもの発達段階に応じて、危険物の取扱いや危険な物・場所・行為から身を守るための支援を行っている。	○
<input type="checkbox"/> 子どもの交通事故を防止するため、交通ルール等について日頃から子どもに教えている。	
② 医療機関と連携して一人一人の子どもに対する心身の健康を管理するとともに、異常がある場合は適切に対応している。	b
<input type="checkbox"/> 子どもの平常の健康状態や発育・発達状態を把握している。	○
<input type="checkbox"/> 健康上特別な配慮を要する子どもについては、医療機関と連携して、日頃から注意深く観察している。	○
<input type="checkbox"/> 職員間で医療や健康に関して学習する機会を設け、知識を深める努力をしている。	
<input type="checkbox"/> 服薬管理の必要な子どもについては、医療機関と連携しながら服薬や薬歴のチェックを行っている。	○
<input type="checkbox"/> 受診や服薬が必要な場合、子どもがその必要性を理解できるよう、説明している。	
<input type="checkbox"/> 感染症に関する対応マニュアル等を作成し、感染症や食中毒が発生し、まん延しないように必要な措置を講じている。また、あらかじめ関係機関の協力が得られるよう体制整備をしている。	○

(7) 性に関する教育

①	子どもの年齢・発達段階に応じて、異性を尊重し思いやりの心を育てるよう、性についての正しい知識を得る機会を設けている。	a
	<input type="checkbox"/> 年齢、発達段階に応じて、性についての正しい知識、関心が持てるよう支援している。	○

		<input type="checkbox"/> 性をタブー視せず、子どもの疑問や不安に答えている。 <input type="checkbox"/> 年齢相応で健全な異性とのつき合いができるよう配慮している。 <input type="checkbox"/> 年齢に応じた性教育のカリキュラムを用意し、正しい性知識を得る機会を設けている。 <input type="checkbox"/> 性教育について、職員や子どもに対して外部講師を招いて学習会を実施している。
<p>(特に評価が高い点、改善が求められる点)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・性教育について、低学年にあっては、良いタッチ、悪いタッチ、プライベートゾーン、腕一本の距離の教え、第二次性徴の出た後は、身体の変化について「大切な心と体」の教材を使って講義の後、に理解した内容を確認し、中学生は、心配な子に個別に生理周期や避妊について説明している。 ・消灯後、他の子どものベッドに入る子（淋しさから）もいるが、性的な行為に至らないようにしている。（職員が添い寝をする事もある） ・子どもの成長に合わせて性に対する知識が得られる機会を設けている。 		

	<p>(8) 行動上の問題及び問題状況への対応</p> <p>① 子どもが暴力、不適応行動などの問題行動をとった場合に適切に対応している。</p> <input type="checkbox"/> 問題行動のある子どもについて、子どもの特性等あらかじめ職員間で情報を共有化し、連携して対応できるようにしている。 <input type="checkbox"/> 問題行動のある子どもについては、訴えたいことを受け止めるとともに、問題となる行動を観察・記録し、誘引や刺激、人的・物的環境との因果関係を分析している。 <input type="checkbox"/> 職員の研修等を行い、問題行動に対して適切な支援技術を習得できるようにしている。 <input type="checkbox"/> 問題行動に対して、子どもの心身を傷つけずに対応するための体制を整えている。 <input type="checkbox"/> 必要に応じ、児童相談所、専門医療機関等と協力し、対応している。	5 11
--	---	---------

○
○
○
○

巨離等を
後、個別
る。
うに支援

第三者 評価結 果
a
○
○
○
○
○

	<input type="checkbox"/> 周囲の子どもの安全を図る配慮がなされている。	○
	<input type="checkbox"/> パニックなどで自傷や他害の危険度が高い場合に、その場から離すなどして、子どもの心身を傷つけずに対応するとともに、周囲の子どもの安全を図っている。	○
②	施設内の子ども間の暴力、いじめ、差別などが生じないよう施設全体に徹底している。	b
	<input type="checkbox"/> 日頃から他人に対する配慮の気持ちや接し方を職員が模範となって示している。	○
	<input type="checkbox"/> 人権に対する子どもの意識を育むよう支援をしている。	
	<input type="checkbox"/> 問題の発生予防のために、施設内の構造、職員の配置や勤務形態のあり方についても点検を行っている。	○
	<input type="checkbox"/> 課題を持った子ども、入所間もない子どもの場合は観察を密にし、個別の支援を行っている。	○
	<input type="checkbox"/> 施設だけでは暴力やいじめに対する対応が困難と判断した場合には、児童相談所の協力を得ながら対応している。	○
	<input type="checkbox"/> 暴力やいじめについて、対応マニュアルを作成するなど、問題が発覚した場合は、全職員が適切な対応ができる体制を整えている。	
③	虐待を受けた子ども等、保護者からの強引な引き取りの可能性のある場合、施設内で安全が確保されるよう努めている。	a
	<input type="checkbox"/> 強引な引き取りのための対応について施設で統一的な対応が図られるよう職員に周知徹底している。	○
	<input type="checkbox"/> 引き取りの可否等について、児童相談所との連絡を適宜行っている。	○
	<input type="checkbox"/> 緊急時には協力を依頼できるよう、警察との連携を図っている。	○

(特に評価が高い点、改善が求められる点)

・職員は言葉かけに注意を払い、いじめ等については日常生活の中で「威圧はだめだよ、暴力は
 ません」と説明している。職員間では日々の日誌で情報の共有、ミーティングで意見交換（日々
 施）、ホールディング等やむをえない場合もあるがその時は複数の職員で対応し、不穏、興奮状
 陥る前に対応している。
 ・問題を起こした子どもへの対応は他から刺激を受けないように、自室で職員と個別の時間を持
 自分の行為を振り返る時間を持つ対応を図っている。

(9) 自主性、主体性を尊重した日常生活

① 日常生活のあり方について、子ども自身が自分たちの問題として主体的
 的に考えるよう支援している。

子どもの趣味や興味に合ったプログラムになるように子どもの意見を反映させ、
 改変している。

子どもが主体的に行事の企画・運営にかかわることができる。

活動に対して自発的な参加を促すよう支援している。

日常生活を含め行事等のプログラムに追われることなく、ゆとりある生活が過ご
 せるよう配慮している。

行事等の参画について、子ども一人一人の選択を尊重している。

② 子どもの発達段階に応じて、金銭の管理や使い方など様々な生活技術
 が身につくよう支援している。

計画的な小遣いの使用等、金銭の自己管理ができるよう支援している。

無駄遣いをやめ、節約したことによる効果が実感できるようなお金の使い方を体
 験できるように工夫している。

大人と一緒に買物をする体験、一人で買物をさせるなど経済観念や金銭感覚が
 身につくよう支援している。

力は認め
日々実
奮状態に
を持ち、

<input type="checkbox"/> 小遣いの使途については、子どもの自主性を尊重し、不必要な制限を加えていない。	
<input type="checkbox"/> 地域での生活を見据えて様々な生活技術を学ぶプログラムを実施している。	

(10) 学習支援、進路支援等

①	学習環境の整備を行い、学力等に応じた学習支援を行っている。	b
	<input type="checkbox"/> 施設の子どものための分級や分校など、学校教育が用意され、個別支援が行われている。	○
	<input type="checkbox"/> 忘れ物や宿題の未提出が無いよう把握している。	○
	<input type="checkbox"/> 辞書・参考書等学習に必要な書籍を用意している。	○
	<input type="checkbox"/> 静かに落ち着いて勉強できるように個別スペースや学習室を用意するなどの配慮をしている。	
	<input type="checkbox"/> 年齢や理解力に応じて、自分で学習計画が立てられるなど、学習習慣が身につくよう支援している。	
	<input type="checkbox"/> 学校教師と十分な連携をとり、常に子ども個々の学力を把握し、学力に応じた個別的な学習支援を行っている。	○
	<input type="checkbox"/> 学習支援のため、ボランティアの協力を得ている。	
②	「最善の利益」にかなった進路の自己決定ができるよう支援している。	b
	<input type="checkbox"/> 進路選択に必要な資料を収集し、子どもに判断材料を提供している。	○
	<input type="checkbox"/> 進路選択に当たって、子どもと十分に話し合っている。	○
	<input type="checkbox"/> 進路選択に当たって、保護者、学校、児童相談所の意見を十分聞くなど連携している。	○
	<input type="checkbox"/> 早い時期から進路について自己決定ができるような相談、支援を行っている。	
	<input type="checkbox"/> 奨学金など進路決定のための経済的な支援の仕組みについての情報等も提供している。	
	<input type="checkbox"/> 進路決定後のフォローアップを行っている。	○
③	施設と学校との親密な連携のもとに子どもに対して学校教育を保障している。	b

第三者
評価結
果
本
b
○
○
○
府
b
○
本
○
が
○

		<input type="checkbox"/> 日々の子どもの状況の変化等に関する情報が、学校・施設間で確実に伝達できるシステムが確保されている。
		<input type="checkbox"/> 個々の子どもに対する生活支援、学習支援及び進路支援等を相互に協力して実施している。
		<input type="checkbox"/> 学校で生じた子どもの行動上の問題に対しては、学校に協力して対応している。
		<input type="checkbox"/> 学校との協議に基づき、児童の個々の学習支援計画を立て、それに応じて支援をし、計画の見直しを行っている。
		<input type="checkbox"/> 個別ケース会議には原則として施設と学校の担当者が参加して検討している。
		<input type="checkbox"/> 家庭復帰を目指す場合は退所後に通学する学校との連携が適切にとられている。
<p>(特に評価が高い点、改善が求められる点)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 日常生活がゆったりとしており、自発的に子どもの主体的生活を身につける為に、興味に合った宿題が終わった後は自由時間（遊び、趣味）が多く確保されている。夕食後も就寝までの間、これの時間が持てている。（仮面ライダー、ゲーム、テレビ）・教頭が朝礼、昼のミーティングし、学校との情報の共有はできている。 ・ 進路に向けては子どもとの話しいを持ちながら、保護者、児相と関係者会議を開いている。 <p>(改善が求められる点)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 以前、勉強したい子には夕食後の食堂が勉強室であったが、現在では子どもから目が離せないで、別棟の食堂が使用できないため、夜間の個別の学習スペースや学習室の用意と、可能であればランディアの受け入れが望ましい。 		

<p>(11) 継続性とアフターケア</p>	
<p>①</p>	<p>子どもの状況に応じて退所後の社会生活を見据えた見立てを行い、支援している。</p> <hr/> <p><input type="checkbox"/> 子どもの状況に合わせた退所後の見立てが行われている。</p> <hr/> <p><input type="checkbox"/> 退所が近い子どもや高校年齢の子どもは、退所後の生活の見立てが自立支援計画に書かれている。</p> <hr/> <p><input type="checkbox"/> 退所後の生活に合わせた具体的な生活スキルが獲得できる支援が行われている。</p>

き ○
 て ○
 い ○
 援 ○
 ○
 い ○
 合わせ、
 し、それぞ
 ぐに参加
 ない状態
 あればホ
 第三者
 評価結
 果
 支 b
 ○
 援 ○
 ハ ○

	<input type="checkbox"/> 就職などを目指す場合は、社会人としての自覚が持てるような支援が行われている。	
	<input type="checkbox"/> 困った時に頼れる人や機関があるという認識が持てるように支援している。	○
	<input type="checkbox"/> 退所後においても医療や福祉的支援の継続を要する場合、ケアの連続性を念頭に入れた支援と関係機関との連携調整等が行われている。	○
②	措置変更又は受入れに当たり継続性に配慮した対応を行っている。	b
	<input type="checkbox"/> 措置変更に当たってはケース会議を開催し、措置機関や関係行政機関と協議のうえ、適切な措置変更の時期、措置変更後の生活等について検討している。	○
	<input type="checkbox"/> 措置変更前の援助が適切に行われている。	○
	<input type="checkbox"/> 他の施設や里親への移行に当たり、措置変更後の生活がスムーズに行えるように配慮した手順と引継ぎ文書を定めている。	
	<input type="checkbox"/> 継続的な支援を行うための育ちの記録を作成している。	○
	<input type="checkbox"/> 措置変更した後も、施設として子どもが相談できるように担当者や窓口を設置している。	○
	<input type="checkbox"/> 措置変更時に、子どもに対し、その後の相談方法や担当者について説明を行い、その内容を記載した文書を渡している。	
	<input type="checkbox"/> 措置変更後の支援を積極的に行っている。	○
③	家庭引き取りに当たって、子どもが家庭で安定した生活を送ることができるよう家庭復帰後の支援を行っている。	a
	<input type="checkbox"/> 退所に当たって、本人や家族の意向を踏まえて、児童相談所や関係機関と協議し、適切な退所時期、退所後の生活を検討している。	○
	<input type="checkbox"/> 家庭復帰後の子どもや家族の状況把握や支援など関係機関との役割を明確にしている。	○
	<input type="checkbox"/> 退所後の相談を受けることを本人、保護者に伝えている。	○
	<input type="checkbox"/> 退所者の状況の把握に努め、記録している。	○
④	子どもが安定した生活を送ることができるよう退所後の支援を行っている。	b
	<input type="checkbox"/> 通所機能や外来機能を利用して、退所後の支援を継続して行っている。	
	<input type="checkbox"/> 退所後何年たっても施設に相談できることを伝えている。	

	<input type="checkbox"/> 退所後の相談を受けることを本人、保護者に伝えている。
	<input type="checkbox"/> 退所者の状況の把握に努め、記録している。
	<input type="checkbox"/> 子どもと共に退所する地域の関係機関と連携し、退所後の生活の支援体制の構築に努めている。
	<input type="checkbox"/> 施設退所者が集まれるような機会を設けている。

(12) 通所による支援

①	施設の治療的機能である生活支援や心理的ケアなどにより、通所による支援を行っている。
	<input type="checkbox"/> 在宅支援として通所支援を実施している。
	<input type="checkbox"/> 必要に応じて訪問による支援を実施している。
	<input type="checkbox"/> 様々なプログラム課程を策定し、子どもの自立支援を実施している。
	<input type="checkbox"/> 子どもの生活実態を的確にとらえ、それに基づき適切な支援を行っている。

(特に評価が高い点、改善が求められる点)

- ・退所に関するケース会議は児相、保護者、学園とで実施し、フォローアップについては、3ヶ月後に電話を入れている。家庭や保護者からの依頼や必要に応じ、家庭訪問を実施している
- ・通所は実施していないが、外来相談を実施し、施設関係からの相談が多く、施設の機能を活相談を実施している。

2 家族への支援

		第三者 評価結 果
<input type="radio"/>	(1) 家族とのつながり	
<input type="radio"/>	① 児童相談所と連携し、子どもと家族との関係調整を図ったり、家族からの相談に応じる体制づくりを行っている。	a
<input type="radio"/>	<input type="checkbox"/> 家族との関係調整については、定例的かつ必要に応じて児童相談所等と協議を行っている。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 施設と家族が信頼関係を構築できるよう努めている。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 自立支援計画、心理治療方針、服薬などの医療等について、入所後も適宜、家族と確認しあう機会を設けている。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 家庭訪問や親との面接などを通じて家族への働きかけを行い、親子関係の継続や修復に努めている。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 子どもの日常生活の様子について家族に伝えている。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 子どもに関係する学校、地域、施設等の予定や情報を、家族に随時知らせている。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 家庭支援専門相談員を独立した専門職として配置し、その役割を明示している。	<input type="radio"/>
	② 子どもと家族の関係づくりのために、面会、外出、一時帰宅などを積極的に、かつ適切に行っている。	a
	<input type="checkbox"/> 子どもが家族との交流を望む場合、適切に支援している。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 面会、外出、一時帰宅については、規程を設けている。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 面会、外出、一時帰宅については、規程に基づいて実施している。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 一時帰宅については、児童相談所と協議して行っている。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 面会、外出、一時帰宅後の子どもの様子を注意深く観察し、家族からの不適切なかかわりの発見に努めている。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 親子が必要な期間一緒に過ごせるような設備を施設内に設けている。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 子どもが家族との交流を希望しない場合には、その意思を尊重している。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 家族等との交流の乏しい子どもには、週末里親、短期里親やボランティア家庭等での家庭生活を短期間体験させるなどの配慮をしている。	<input type="radio"/>

の

よ
評価
外

3ヶ月、6
いる。
と活用した

(2) 家族に対する支援

①	親子関係の再構築等のために家族への支援に積極的に取り組んでいる。
	<input type="checkbox"/> 家族に家族担当を設定し、家族支援計画を立てている。
	<input type="checkbox"/> 保護者等と定期的に面接やカウンセリングを行っている。
	<input type="checkbox"/> 家族には受容的なかわりを心がけ、信頼関係を築くようにしている。
	<input type="checkbox"/> 家族の抱える課題に対して、児童相談所と連携しながら、具体的な支援を行っている。
	<input type="checkbox"/> 家族療法事業を適切に実施するなど、子どもと家族との関係回復に向けた支援を行っている。
	<input type="checkbox"/> 子どもと保護者の安定した関係に配慮し、保護者の養育力の向上に資するよう、適切に支援を行っている。
	<input type="checkbox"/> 子どもが早期に家庭復帰が可能となるように、児童相談所と協力して家庭復帰等のプログラムを継続的に実施している。
<p>(特に評価が高い点、改善が求められる点)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 家族懇談会、個別面接、ペアレントトレーニング、家庭訪問、担当からの連絡は随時実施し、会、外出、一時帰宅等は規定に基づき実施し、家庭復帰プログラム、家族療法プログラムが用いている等、きめ細かい支援が実施されている。 ・ 週末里親の活用や敷地内に家族療法棟があり家族の面会や宿泊ができる体制が整っている。 ・ 児相との協議の中で段階的に取り組んでいる。 ・ 子どもの様子については日誌に詳細に記録がとられている。 	

3 自立支援計画、記録

(1)	自立支援計画の策定
①	アセスメントに基づいて子ども一人一人の自立支援計画を策定するための体制を確立し、実際に機能させている。

		<input type="checkbox"/> 記録管理の責任者が設置されている。 <input type="checkbox"/> 子どもや保護者等の記録の保管、保存、廃棄に関する規程等を定めている。 <input type="checkbox"/> 子どもや保護者等から情報の開示を求められた場合に関する規程を定めている。 <input type="checkbox"/> 記録の管理について個人情報保護と情報開示の観点から、職員に対し教育や研修が行われている。 <input type="checkbox"/> 職員は、個人情報保護法を理解し、遵守している。 <input type="checkbox"/> 職員に守秘義務の遵守を周知している。
	③	<p>子どもや保護者等の状況等に関する情報を職員が共有するための具体的な取組を行っている。</p> <input type="checkbox"/> 施設における情報の流れが明確にされ、情報の分別や必要な情報が的確に届くような仕組みが整備されている。 <input type="checkbox"/> 情報共有を目的として、ケース会議の定期的な開催等、部門横断での取組がなされている。 <input type="checkbox"/> 記録について、パソコンを利用している場合にはネットワークシステム等を利用して、パソコンを利用していない場合には台帳が整備され、施設内で情報を共有する仕組みを作っている。
<p>(特に評価が高い点、改善が求められる点)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自立支援計画書を作成し、月例報告書の記載は、毎月1回以上、随時子どもの実情に合わせて記録されている。 ・記録については県の文書規定に基づき、責任者の確認、三部門で話し合い、心理担当がまとめたケース検討会で評価、見直し更新(更新の履歴もしっかり残され)がされている。 ・情報の共有についてはミーティングや共有サーバーを活用してデータベースで、供覧の場で廻し、全て決裁をとっている。 		

4 権利擁護

		○ (1) 子どもの尊重と最善の利益の考慮	第三者 評価結 果
	○	① 子どもを尊重した治療・支援についての基本姿勢を明示し、施設内で共通の理解を持つための取組を行っている。	a
い	○	□理念や基本方針に、子どもを尊重した治療・支援の実施について明示している。	○
や	○	□子どもを尊重した治療・支援に関する基本姿勢が、個々の治療・支援の標準的な実施方法等に反映されている。	○
	○	□子どもの尊重や基本的人権への配慮について、施設で勉強会・研修を実施している。	
	○	□被措置児童等虐待防止について職員に周知徹底している。	○
体	a	② 社会的養護が子どもの最善の利益を目指して行われることを職員が共通して理解し、日々の治療・支援において実践している。	a
届	○	□治療・支援の内容が子どもにとって最善の利益になっているか、振り返り検証する機会が設けられている。	○
な	○	□職員が日々子どもとのやり取りを振り返り、必要に応じてスーパービジョンを受けられる環境が整っている。	○
用	○	□職員相互で子どもの治療・支援に対する姿勢の士気が涵養されている。	
つ		□子どもの状況に応じて適切な対応ができるよう、常に子どもの利益を考慮し真摯に向き合っている。	○
せて細		③ 子どもの発達に応じて、子ども自身の出生や生い立ち、家族の状況について、子どもに適切に知らせている。	a
まとめ、		□子どもの発達段階や治療過程に応じて、可能な限り事実を伝えようと努めている。	○
り場合は細		□事実を伝える場合には、子どもの発達段階、治療過程や個別の事情に応じて慎重に対応している。	○
		□伝え方や内容などについて職員会議等で確認し、職員間で共有している。	
		□事実を伝えた後、適切なフォローを行っている。	○
		□家族の情報の中には子どもに知られたくない内容があることも考慮し、場合によっては児童相談所との連携を行っている。	○
		④ 子どもの行動などの制限については、子どもの安全の確保等のために、他に取るべき方法がない場合であって子どもの最善の利益になる場合にのみ、適切に実施している。	a
		□自傷他害などの危険性が高く、子どもの権利擁護のために、子どもの行動の制限や、無断で居室に立ち入るなど子どものプライバシーの制限を、やむを得ず最小限の範囲で行うケアについてのマニュアルなどを作成している。	○

	<input type="checkbox"/> 行動等を制限するケアに関するマニュアル等について定例的に検証し、必要な場合には見直しを行っている。
	<input type="checkbox"/> 行動等を制限するケアについて、具体的な例を示し、職員に徹底している。
	<input type="checkbox"/> 行動等を制限するケアについて、具体的な例を示して、子どもに周知している。
	<input type="checkbox"/> 子どもが納得できない場合、苦情解決制度を通じて意見を述べるができることを知らせている。
⑤	<p>子どものプライバシー保護に関する規程・マニュアル等を整備し、職員に周知するための取組を行っている。</p> <input type="checkbox"/> 子どものプライバシー保護について、規程・マニュアル等の整備や、施設・設備面での工夫等、組織として具体的に取り組んでいる。
	<input type="checkbox"/> 居室への立ち入りや手紙の開封等が必要な場合の事前説明と本人の同意等について手続きを定めて行っている。
	<input type="checkbox"/> 子どものプライバシー保護に関する基本的知識、社会福祉事業に携わる者としての姿勢・意識、利用者のプライバシー保護に関する規程・マニュアル等について、職員に研修を実施している。
	<input type="checkbox"/> 規程・マニュアル等に基づいた治療・支援が実施されている。
⑥	<p>子どもや保護者の思想や信教の自由を保障している。</p> <input type="checkbox"/> 施設において宗教的活動を強要していない。
	<input type="checkbox"/> 個別的な宗教活動は尊重している。
	<input type="checkbox"/> 保護者の思想・信教によってその子どもの権利が損なわれないよう配慮している。

(2) 子どもの意向や主体性への配慮

①	<p>子どもや保護者の意向を把握する具体的な仕組みを整備し、その結果を踏まえて、治療・支援の内容の改善に向けた取組を行っている。</p> <input type="checkbox"/> 子どもや保護者の意向に関する調査を定期的に行っている。
	<input type="checkbox"/> 子どもや保護者の意向を把握する目的で、子どもや保護者への個別の相談面接や聴取、子どもや保護者との懇談会を定期的に行っている。
	<input type="checkbox"/> 子どもや保護者の意向を把握する目的で、子ども会や保護者会などに出席している。
	<input type="checkbox"/> 子どもや保護者の意向に関する調査の担当者・担当部署の設置や、把握した結果を分析・検討するために、子ども参画のもとで検討会議の設置等が行われている。

な	<input type="radio"/>	<input type="checkbox"/> 分析・検討の結果に基づいて具体的な改善を行っている。	<input type="radio"/>
	<input type="radio"/>	② 子ども自身が生活全般について自主的に考える活動を推進し、施設における生活改善に向けて積極的に取り組んでいる。	b
。	<input type="radio"/>	<input type="checkbox"/> 子ども自身が自分たちの生活全般について、自主的・主体的な取組ができるような活動(施設内の子ども会、ミーティング等)を実施している。	<input type="radio"/>
るこ	<input type="radio"/>	<input type="checkbox"/> 子どもが自分たちの生活における問題や課題について主体的に検討し、その上で取組、実行、管理するといった内容を含んだ活動をしている。	
職	b	<input type="checkbox"/> 活動を通して、子どもの自己表現力、自律性、責任感などが育つよう、職員は必要な支援をしている。	<input type="radio"/>
備	<input type="radio"/>	<input type="checkbox"/> 活動における目標実現に向かって発展していくよう、職員は必要な支援をしている。	
新に	<input type="radio"/>	<input type="checkbox"/> 活動で決定した要望等について、施設や職員は可能な限り応えている。	<input type="radio"/>
とし		③ 施設が行う支援について事前に説明し、子どもが主体的に選択(自己決定)できるよう支援している。	b
い		<input type="checkbox"/> 施設の提供する支援の内容・方法について事前に子どもに十分説明している。	<input type="radio"/>
	a	<input type="checkbox"/> 子どもに必要な情報を提供し、子どもが主体的に選択、あるいは保留できるようにしている。	<input type="radio"/>
	<input type="radio"/>	<input type="checkbox"/> 子どもの発達段階に応じて自己決定できるように取り組んでいる。	<input type="radio"/>
	<input type="radio"/>	<input type="checkbox"/> 子どもの自己決定の重要性について職員全員が十分認識している。	
い	<input type="radio"/>	<input type="checkbox"/> 子どもの知る権利を守り、主体的に問題解決に立ち向かう力を高めるため、子どもに対して適切な情報提供を行っている。	

(特に評価が高い点、改善が求められる点)

課	a
	<input type="radio"/>
面	<input type="radio"/>
て	
た	
いて	

- ・支援理念に基づいての支援、安心、安全、育ち、受容的なかわりが実践されている。
- ・振り返りの場が設けられ子どもの立場に立って、個別の支援を目指し、スーパービジョンも行われている。
- ・意見箱に上がった要望については検討し、毎月のヒアリングで子どもの意向を聞き取り支援している。また、保護者から要望のあった事案については、運用ルールを明示して対応した事例がある。

(3) 入所時の説明等

① 子どもや保護者等に対して、治療・支援の内容を正しく理解できるような工夫を行い、情報の提供を行っている。

インターネットを利用して、施設を紹介したホームページを作成し公開している。

施設を紹介する資料は、言葉遣いや写真・図・絵の使用等で誰にでもわかるような内容にしている。

見学、体験入所、一日利用等の希望に対応している。

施設の様子(内容)がわかりやすく紹介された印刷物等を作成し、希望があれば見学にも応じるなど治療・支援の内容を正しく理解できるような工夫を行っている。

治療内容や集団生活上の守るべきルールなども正しく理解できるような工夫を行っている。

② 入所時に、施設で定めた様式に基づき治療・支援の内容や施設での約束ごとについて子どもや保護者等にわかりやすく説明している。

入所時に、治療・支援の内容が具体的に記載された資料を用意して、子どもや保護者等に説明している。

説明に当たっては、子どもや保護者等が理解しやすいような工夫や配慮を行っている。

施設の規則、面会や外泊などの約束ごとや生活上の留意点等についてわかりやすく説明している。

子どもの不安を解消し施設生活を理解できるよう配慮し、担当者を決めて適切な援助を行っている。

ンも日常的
 愛に繋げて
 列がある。

<input type="checkbox"/> 子どもが施設における治療を主体的に受けられるように動機付けを行っている。	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/> 保護者が子どもの治療の協力者となるように動機付けを行っている。	<input type="checkbox"/>

(4) 権利についての説明

①	子どもに対し、権利について正しく理解できるよう、わかりやすく説明している。	b
	<input type="checkbox"/> 定期的に職員間で子どもの権利に関する学習機会を持っている。	
	<input type="checkbox"/> 定期的に全体の場で権利についての理解を深めるよう、子どもたちに説明している。	
	<input type="checkbox"/> 日常生活の中で起こる出来事を通して、正しい理解につながるよう努めている。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 年齢に配慮した説明を工夫している。(例えば高校生、中学生、小学生などに分けた説明の機会)	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 権利ノートやそれに代わる資料を使用して施設生活の中で守られる権利についてわかりやすく随時説明している。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 子どもの状態に応じて、権利と義務・責任の関係について、理解できるように説明している。	

第三者
 評価結
 果
 よ
 b
 ら。
 〇
 よう
 〇
 いば
 ら。
 〇
 を
 約
 a
 しゃ
 〇
 っ
 〇
 かり
 〇
 直切
 〇

(5) 子どもが意見や苦情を述べやすい環境

①	子どもが相談したり意見を述べたりしたい時に相談方法や相談相手を選択できる環境を整備し、子どもに伝えるための取組を行っている。	a
	<input type="checkbox"/> 子どもが、複数の相談方法や相談相手の中から自由に選べることを、わかりやすく説明した文書を作成している。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 子ども等に、その文書を配布している。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 子どもや保護者等に十分に周知し、日常的に相談窓口を明確にした上で、内容をわかりやすい場所に掲示している。	
	<input type="checkbox"/> 相談や意見を述べやすいようなスペースに配慮している。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 子どもが自由に意見を表明できるよう、子どもと職員の関係づくりに取り組んでいる。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 普段の子どもの表情や態度からも気持ちや意見を読み取るように取り組んでいる。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 発達段階や能力によって十分に意思を表明することができない子どもに対して、職員が代弁者としての役割を果たすよう努めている。	<input type="checkbox"/>

	<input type="checkbox"/> 日常生活の場面で、面接を実施し、子どもから意見を引き出すよう取り組んでいる。 <input type="checkbox"/> すぐに対応することが難しいことについても、職員会議等で話し合う等の取組を行っている。
②	<p>苦情解決の仕組みを確立し、子どもや保護者等に周知する取組を行うとともに、苦情解決の仕組みを機能させている。</p> <input type="checkbox"/> 苦情解決の体制(苦情解決責任者の設置、苦情受付担当者の設置、第三者委員の設置)を整備している。 <input type="checkbox"/> 苦情解決の仕組みを説明した資料を子どもや保護者等に配布、説明しているとともに、わかりやすく説明した掲示物を掲示している。 <input type="checkbox"/> 子どもや保護者に対して、苦情記入カードの配布や匿名アンケート実施など子どもや保護者が苦情を申し出やすい工夫を行っている。 <input type="checkbox"/> 苦情を受け付けて解決を図った記録が適切に保管されている。 <input type="checkbox"/> 苦情への検討内容や対応策を、子どもや保護者等に必ずフィードバックしている。 <input type="checkbox"/> 苦情を申し出た子どもや保護者等に配慮した上で、苦情内容及び解決結果等を公表している。
③	<p>子ども等からの意見や苦情等に対する対応マニュアルを整備し、迅速に対応している。</p> <input type="checkbox"/> 意見や提案を受けた際の記録の方法や報告の手順、対応策の検討等について規定したマニュアルを整備している。 <input type="checkbox"/> 対応マニュアルに沿った取組がなされており、意見や提案のあった子ども等には、検討に時間がかかる場合も状況を速やかに報告している。 <input type="checkbox"/> 対応マニュアルの定期的な見直しを行っている。 <input type="checkbox"/> 子どもの希望に応えられない場合は、その理由を子どもに丁寧に説明して、理解を求めている。 <input type="checkbox"/> 苦情や意見等を治療・支援や施設運営の改善に反映している。
(6) 被措置児童等虐待対応	
①	<p>いかなる場合においても体罰や子どもの人格を辱めるような行為を行わないよう徹底している。</p> <input type="checkbox"/> 「就業規則」等の規程に体罰等の禁止を明記している。 <input type="checkbox"/> 具体的な例を示して体罰等を禁止している。

い	<input type="radio"/>	<input type="checkbox"/> 体罰があった場合を想定して、施設長が職員・子ども双方にその原因や体罰等の方法・程度等、事実確認をすることや、「就業規則」等の規程に基づいて厳正に処分を行う仕組みがつくられている。	<input type="radio"/>	
目を	<input type="radio"/>		<input type="checkbox"/> 体罰等の禁止を職員に徹底するため、日常的に会議等で体罰等を取り上げ、行われていないことを確認している。	<input type="radio"/>
う	b			<input type="checkbox"/> 体罰等の起こりやすい状況や場面について、研修や話し合いを行い、体罰等を伴わない支援技術を習得できるようにしている。
委	<input type="radio"/>		<input type="checkbox"/> 自傷行為や他者への加害行為を阻止するための方法について検討し、適切に対応している。	
と	<input type="radio"/>	②	子どもに対する暴力、言葉による脅かし等の不適切なかかわりの防止と早期発見に取り組んでいる。	b
子	<input type="radio"/>	<input type="checkbox"/> 暴力、人格的辱め、心理的虐待などの不適切なかかわりの防止について、具体的な例を示し、職員に徹底している。	<input type="radio"/>	
	<input type="radio"/>		<input type="checkbox"/> 不適切なかかわりの防止について、具体的な例を示して、子どもに周知している。	<input type="radio"/>
い	<input type="radio"/>		<input type="checkbox"/> 不適切なかかわりに迅速に対応できるように、子どもからの訴えやサインを見逃さないよう留意している。	<input type="radio"/>
を	<input type="radio"/>		<input type="checkbox"/> 不適切なかかわりの防止を徹底するため、日常的に会議等で取り上げ、行われていないことを確認している。	<input type="radio"/>
速	b		<input type="checkbox"/> 不適切なかかわりの起こりやすい状況や場面について、研修や話し合いを行い、これによらない支援技術を習得できるようにしている。	<input type="radio"/>
て	<input type="radio"/>		<input type="checkbox"/> 不適切なかかわりの防止の視点から、職員体制(配置や担当の見直し等)を検討している。	<input type="radio"/>
に	<input type="radio"/>		<input type="checkbox"/> 不適切なかかわりの防止の視点から、密室・死角等の建物構造の点検と改善を行っている。	<input type="radio"/>
	<input type="radio"/>		<input type="checkbox"/> 不適切なかかわりを発見した場合には、記録し、必ず施設長等に報告することが明文化されている。	<input type="radio"/>
理	<input type="radio"/>	<input type="checkbox"/> 不適切なかかわりがあった場合を想定して、施設長が職員・子ども双方にその原因や方法・程度等、事実確認をすることや、「就業規則」等の規程に基づいて厳正に処分を行うような仕組みがつくられている。	<input type="radio"/>	
	<input type="radio"/>	<input type="checkbox"/> 子どもが自分自身を守るための知識、具体的方法について学習する機会を設けている。	<input type="radio"/>	
		③	被措置児童等虐待の届出・通告に対する対応を整備し、迅速かつ誠実に対応している。	a
行	a	<input type="checkbox"/> 被措置児童等虐待の届出・通告制度について、対応マニュアルが整備されている。	<input type="radio"/>	
	<input type="radio"/>		<input type="checkbox"/> 被措置児童等虐待が疑われる事案が生じたとき、施設内で検証し、第三者の意見を聞くなどの迅速かつ誠実な対応をするための体制整備ができています。	<input type="radio"/>
	<input type="radio"/>		<input type="checkbox"/> 被措置児童等虐待の届出・通告があった場合に、届出者・通告者が不利益を受けることのない仕組みが整備されている。	<input type="radio"/>

被措置児童等虐待の届出・通告制度について、研修会などで職員に周知をしている。

被措置児童等虐待の届出・通告制度について説明した資料を子ども等に配布、説明しているとともに、掲示物を掲示している。

(7) 他者の尊重

①

様々な生活体験や多くの人たちとのふれあいを通して、他者への心づかいや他者の立場に配慮する心が育まれるよう支援している。

基本的な信頼感を獲得するなど良好な人間関係を築くために職員と子どもが個別にふれあう時間を確保している。

喧嘩など子どもの間でトラブルが生じた時、相手の人格を尊重しながら、基本的には子ども同士で関係を修復できるようになれるよう支援している。

上の年齢との関係、同年齢との関係、下の年齢との関係などの人間関係を日常的に経験できる生活環境を用意するなど、人格の尊厳を理解し、自他の権利を尊重して共生できる人間性を育成するように努めている。

日々の生活や行事等で、子どもが協働して行う場面では、助け合い、認め合い、協力し合い、感謝し合う態度を促進するよう支援している。

小学生や障害児など弱い立場にある仲間に対しては、思いやりの心をもって接するよう支援している。

老人福祉施設への訪問等による異世代交流や児童福祉施設間交流を実施するなど、多くの人たちとのふれあいの機会を可能な限り実行している。

(特に評価が高い点、改善が求められる点)

事故防止と安全対策

して	5	事故防止と安全対策	第三者 評価結 果
布、	○		
づ	b		
とが			
ト的	○		
日常を尊			
り合	○		
て接	○		
匠す	○		
		① 事故、感染症の発生時など緊急時の子どもの安全確保のために、組織として体制を整備し、機能させている。	b
		□施設長は子どもの安全確保の取組について、リーダーシップを発揮している。	○
		□子どもの安全確保に関する担当者・担当部署を設置し、その担当者等を中心にして、関係職員の参画のもとで定期的に安全確保に関する検討会を開催している。	
		□リスクの種類別に、責任と役割を明確にした管理体制が整備されている。	○
		□事故発生対応マニュアル、衛生管理マニュアル等を作成して職員に周知するとともに、マニュアル類は定期的に見直しを行っている。	○
		□不審者の侵入等の緊急時の安全確保の体制が整備されている。	○
		□施設周辺等における不審者等の情報について、日頃から地域や警察等の関係機関と連携して、情報を速やかに把握できる体制をとっている。	
		□子どもが犯罪や事故の被害から自分を守るため、施設外での行動に当たって遵守すべき事項について支援している。	
		② 災害時に対する子どもの安全確保のための取組を行っている。	b
		□立地条件等から災害の影響を把握し、建物・設備類の必要な対策を講じている。	○
		□災害時の対応体制を整えている。	○
		□子ども及び職員の安否確認の方法が決められ、全職員に周知されている。	○
		□食料や備品類などの備蓄リストを作成し、備蓄を進めている。	
		□地元の消防署、警察、自治会、消防団等と連携するなど工夫して訓練を実施している。	○
		③ 子どもの安全を脅かす事例を組織として収集し、要因分析と対応策の検討を行い、子どもの安全確保のためにリスクを把握し対策を実施している。	b
		□法令で定められるもののほか、安全対策の一環として建物設備や遊具等の点検を行ったり、施設内外の危険箇所について把握している。	○
		□薬品、刃物、電気製品など危険物の収納管理など、事故を未然に防ぐための取組を組織的にしている。	○

	<input type="checkbox"/> 子どもの安全を脅かす事例の収集を、その仕組みを整備した上で実施している。
	<input type="checkbox"/> 収集した事例について、職員の参画のもとで発生要因を分析し、未然防止策を検討している。
	<input type="checkbox"/> 職員に対して、安全確保・事故防止に関する研修を行っている。
	<input type="checkbox"/> 事故防止策等の安全確保策の実施状況や実効性について、定期的に評価・見直しを行っている。
	<input type="checkbox"/> 災害や事故発生に備え、危険箇所の点検や避難訓練を実施している。
	<input type="checkbox"/> 外部からの不審者等の侵入防止のための対策や訓練など不測の事態に備えて対応を図るとともに、地域の関係機関等と連携し、必要な協力が得られるよう努めている。
	<p>(特に評価が高い点、改善が求められる点)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・与薬についてはヒヤリハットの経験からトリプルチェックを実施している。 ・年度替りにマニュアルの内容の見直しを実施し、子供の安全については処遇対応者全員が毎タッフミーティングで確認している。 <p>(改善が求められる点)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・災害時の非常食の備蓄に職員の分は子どもの安全の確保の為には必要。 ・事例収集の蓄積と検討から想定範囲を広げ、未然防止策の充実が求められる。

6 関係機関連携・地域支援

(1) 関係機関等の連携	
①	<p>施設の役割や機能を達成するために必要となる社会資源を明確にし、児童相談所など関係機関・団体の機能や連絡方法を体系的に明示し、その情報を職員間で共有している。</p> <input type="checkbox"/> 個々の子どもの状況に対応できる社会資源を明示し、当該地域の関係機関・団体について、その機関・団体との連携の必要性を含めたリストや資料を作成している。
	<input type="checkbox"/> 職員会議で説明する等職員間で情報の共有化が図られている。

こい
 度を
 見
 えて
 予め

が毎日の

第三
 評価
 果

ハ
 ハ
 a

団
 いて
 〇

〇

②	児童相談所等の関係機関等との連携を適切に行い、定期的な連携の機会を確保し、具体的な取組や事例検討を行っている。	a
	<input type="checkbox"/> 関係機関・団体と定期的な連絡会等を行っている。	〇
	<input type="checkbox"/> 地域の関係機関・団体とのネットワーク化に取り組んでいる。	
	<input type="checkbox"/> 子どもや家族の支援について、関係機関等と協働して取り組む体制を確立している。	〇
	<input type="checkbox"/> ネットワーク内で共通の問題に対して、解決に向けて協働して具体的な取組を行っている。	〇
	<input type="checkbox"/> 関係機関・団体ネットワーク内での共通の課題に対して、ケース会議や情報の共有等を行い、解決に向けて協働して具体的な取組を行っている。	〇
	<input type="checkbox"/> 施設職員等が要保護児童対策地域協議会などの会議やケース会議等に積極的に参加している。	
	<input type="checkbox"/> 児童相談所と施設は子どもや家族の情報を相互に提供している。	〇
	<input type="checkbox"/> 通所機能や短期入所機能を活用し、心理的問題を起している子どもの一時的な支援など、社会的養護の分野における心理的ケアのセンター的な役割として他施設等への支援を行っている。	

(2) 地域との交流

①	子どもと地域との交流を大切にし、交流を広げるための地域への働きかけを適切に行っている。	b
	<input type="checkbox"/> 地域とのかかわり方について基本的な考え方を文書化している。	
	<input type="checkbox"/> 活用できる社会資源や地域の情報を収集し、掲示板の利用等で子どもに提供している。	
	<input type="checkbox"/> 子どもが地域の行事や活動に参加する際、必要があれば職員やボランティアが援助を行う体制が整っている。	〇
	<input type="checkbox"/> 施設や子どもへの理解を得るため地域の人々と子どもとの交流会の機会を定期的に設けている。	〇
	<input type="checkbox"/> 施設の職員等が町内会や児童会等、地域の諸団体の役員等として活動している。	
	<input type="checkbox"/> 法人や施設を支える会、後援会等を組織し、施設の治療・支援の趣旨に賛同した地域の人々から支えられている。	
②	施設が有する機能を、地域に開放・提供する取組を積極的に行っている。	b
	<input type="checkbox"/> 育児に関する講習会や研修会、地域住民の生活に役立つ講演会等を開催して、地域へ参加を呼びかけている。	

	<input type="checkbox"/> 地域へ向けて、理念や基本方針、施設で行っている活動等を説明した印刷物や広報誌等を配布している。
	<input type="checkbox"/> 地域の人々の理解を得ることやコミュニケーションを活発にする取組を積極的に行っている。
	<input type="checkbox"/> 育児相談窓口、子育て支援サークル等、地域ニーズに応じ住民が自由に参加できる多様な支援活動を行っている。
	<input type="checkbox"/> 通所、外来機能を活用し、地域の心理治療を要する子どもへの支援を行っている。
③	<p>ボランティア受入れに対する基本姿勢を明確にし、受入れについての体制を整備している。</p> <input type="checkbox"/> ボランティア受入れに関する基本姿勢を明文化している。
	<input type="checkbox"/> ボランティア受入れについて、登録手続、ボランティアの配置、仕事内容、事前説明等に関する項目が記載されたマニュアルを整備している。
	<input type="checkbox"/> ボランティアに対して必要な説明や研修を行っている。

(3) 地域支援

①	<p>地域の具体的な福祉ニーズを把握するための取組を積極的に行っている。</p> <input type="checkbox"/> 関係機関・団体との連携に基づき、具体的な福祉ニーズの把握に努めている。
	<input type="checkbox"/> 民生委員・児童委員等と定期的な会議を開催する等によって、具体的な福祉ニーズの把握に努めている。
	<input type="checkbox"/> 地域住民に対する相談事業を実施すること等を通じて、具体的な福祉ニーズの把握に努めている。
	<input type="checkbox"/> 社会的養護の施設の責務を果たすべく、開かれた施設運営を行っている。
②	<p>地域の福祉ニーズに基づき、施設の機能を活かして地域の子育てを支援する事業や活動を行っている。</p> <input type="checkbox"/> 把握した福祉ニーズに基づいて実施した具体的な事業・活動がある。
	<input type="checkbox"/> 把握した福祉ニーズに基づいた具体的な事業・活動を、中・長期計画や事業計画の中に明示している。
	<input type="checkbox"/> 新たな事業・活動や企画の実施の時には、その利用者等に対して説明し、その意向を尊重している。
	<input type="checkbox"/> 施設が有する専門性を活用し、地域の子育ての相談・助言や市町村の子育て事業の協力している。

や	<input type="radio"/>	<input type="checkbox"/> 地域の里親支援、子育て支援等に取り組むなど、施設のソーシャルワーク機能を活用し、地域の拠点となる取組を行っている。	
に		特に評価が高い点、改善が求められる点) 児相とは緊密に連絡を取り合い、病院も必要に応じ個別の会議に参加する支援体制ができている。	
加		ボランティアを積極的に活用している。 (改善が求められる点) 地域の顕在的なニーズの中で、特に専門性が求められる人々への支援の強化が望まれる。	
い	<input type="radio"/>		
の	<input type="radio"/>		
前	<input type="radio"/>		
	<input type="radio"/>		

7 職員の資質向上

		第三者評価結果
い	<input type="radio"/>	
社	<input type="radio"/>	
の	<input type="radio"/>	
支	<input type="radio"/>	
計	<input type="radio"/>	
の	<input type="radio"/>	
育	<input type="radio"/>	

①	組織として職員の教育・研修に関する基本姿勢が明示されている。	a
	<input type="checkbox"/> 施設が目指す治療・支援を実施するために、基本方針や中・長期計画の中に、組織が職員に求める基本的姿勢や意識を明示している。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 現在実施している治療・支援の内容や目標を踏まえて、基本方針や中・長期計画の中に、施設が職員に求める専門性や専門資格を明示している。	<input type="radio"/>
②	職員一人一人について、基本姿勢に沿った教育・研修計画が策定され計画に基づいて具体的な取組が行われている。	b
	<input type="checkbox"/> 職員一人一人について、基本姿勢に沿った教育・研修計画が策定されている。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 職員一人一人について、援助技術の水準、知識、専門資格の必要性などを把握している。	
	<input type="checkbox"/> 策定された教育・研修計画に基づき、実際に計画に従った教育・研修が実施されている。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 施設内外の研修を体系的、計画的に実施するなど、職員の自己研鑽に必要な環境を確保している。	<input type="radio"/>

	<input type="checkbox"/> 教育・研修計画には、新任職員研修も含め段階的な教育・研修が設定されている。 <input type="checkbox"/> 医学、心理学など専門家の助言を受けられるようにしている。
③	<p>定期的に個別の教育・研修計画の評価・見直しを行い、次の研修計画に反映させている。</p> <input type="checkbox"/> 研修を終了した職員は、報告レポートを作成している。 <input type="checkbox"/> 研修を終了した職員が、研修内容を報告会などで発表し、共有化する機会を設けている。 <input type="checkbox"/> 報告レポートや発表、当該職員の研修後の業務等によって、研修成果に関する評価・分析を行っている。 <input type="checkbox"/> 評価・分析された結果を次の研修計画に反映している。 <input type="checkbox"/> 評価・分析された結果に基づいて、研修内容やカリキュラムの見直しを行っている。
④	<p>スーパービジョンの体制を確立し、施設全体として職員一人一人の援助技術の向上を支援している。</p> <input type="checkbox"/> 施設内でいつでも相談できる体制ができている。 <input type="checkbox"/> 施設長、基幹的職員などの立場にある人が相談することを積極的に働きかけている。 <input type="checkbox"/> 外部のスーパーバイズを受けることができる。 <input type="checkbox"/> ケースについて職員会議などの場で積極的に取り上げている。 <input type="checkbox"/> 職員相互が評価し、助言し合うことを通じて、職員一人一人が援助技術を向上させ、施設全体の治療・支援の質を向上させている。

い	(特に評価が高い点、改善が求められる点) 県のキャリア開発プログラムのメニューは研修推進会議で毎年見直され、施設においても研修参加の成果の評価・見直し、次の研修計画に反映まで行われている。 個々のケースのケース会議に医療職が参加し、グループスーパーバイズが月に2回、職員個人については日常的に受けられる体制にある。
画	a
設	<input type="radio"/>
る	<input type="radio"/>
い	<input type="radio"/>

援 a 3 施設の運営

		第三者 評価結果
て	(1) 運営理念、基本方針の確立と周知	
さ	① 法人や施設の運営理念を明文化し、法人と施設の使命や役割が反映されている。	a
	<input type="checkbox"/> 法人・施設の運営理念が文書(事業計画等の法人・施設内文書や広報誌、パンフレット等)に記載されている。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 法人・施設の運営理念から、法人・施設が実施する社会的養護の内容や特性を踏まえた法人・施設の使命や目指す方向、考え方を読み取ることができる。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 法人・施設の運営理念には運営指針を踏まえ、子どもの権利擁護の推進の視点が盛り込まれ、施設の使命や方向、考え方が反映されている。	<input type="radio"/>
	② 法人や施設の運営理念に基づき、適切な内容の基本方針が明文化されている。	a
	<input type="checkbox"/> 基本方針には運営指針を踏まえ、子どもの権利擁護の推進の視点が盛り込まれている。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 基本方針には施設の役割や機能などが具体的に記載されている。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 基本方針が文書(事業計画等の法人・施設内文書や広報誌、パンフレット等)に記載されている。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 基本方針は、法人・施設の運営理念との整合性が確保されている。	<input type="radio"/>

	<input type="checkbox"/> 基本方針は、職員の行動規範となるよう具体的な内容となっている。
③	<p>運営理念や基本方針を職員に配布するとともに、十分な理解を促すための取組を行っている。</p> <input type="checkbox"/> 運営理念や基本方針を会議や研修において説明している。
	<input type="checkbox"/> 運営理念や基本方針の周知を目的とした実践テーマを設定して会議等で討議の上で実行している。
	<input type="checkbox"/> 運営理念や基本方針の周知状況を確認し、継続的な取組を行っている。
④	<p>運営理念や基本方針を子どもや保護者に配布するとともに、十分な理解を促すための取組を行っている。</p> <input type="checkbox"/> 運営理念や基本方針をわかりやすく説明した資料を作成する等、より理解しやすいような工夫を行っている。
	<input type="checkbox"/> 障害のある保護者や子どもに対しての周知の方法に工夫や配慮をしている。
	<input type="checkbox"/> 運営理念や基本方針を施設の子どもや保護者等に資料をもとに説明している。
	<input type="checkbox"/> 運営理念や基本方針の周知状況を確認し、継続的な取組を行っている。

(2) 中・長期的なビジョンと計画の策定

①	<p>施設の運営理念や基本方針の実現に向けた施設の中・長期計画が策定されている。</p> <input type="checkbox"/> 運営理念や基本方針あるいは質の高い支援の実現に向けた将来像や目標(ビジョン)を明確にしている。
	<input type="checkbox"/> 実施する社会的養護の治療・支援の内容や、組織体制や設備の整備、職員体制、人材育成等の現状分析を行い、課題や問題点を明らかにしている。
	<input type="checkbox"/> 中・長期計画は、課題や問題点の解決に向けた具体的な内容になっている。
	<input type="checkbox"/> 中・長期計画に基づく取組を行っている。
	<input type="checkbox"/> 中・長期計画は必要に応じて見直しを行っている。
	<input type="checkbox"/> 専門的機能の充実や社会的養護の分野での心理支援センター的な役割、また、通所機能を活用した地域支援などを行う計画を明確にしている。
②	<p>各年度の事業計画は、中・長期計画の内容を反映して策定されている。</p>

た 議	<input type="radio"/>	<input type="checkbox"/> 事業計画には、専門的支援、人材育成、地域支援等、中・長期計画の内容を反映した各年度における事業内容が具体的に示されている。	<input type="radio"/>
	b	<input type="checkbox"/> 事業計画は、実行可能かどうか、具体的な活動や数値目標等を設定することによって実施状況の評価を行えるかどうかについて配慮がなされている。	<input type="radio"/>
	<input type="radio"/>	<input type="checkbox"/> 事業計画は、単なる「行事計画」になっていない。	<input type="radio"/>
		<input type="checkbox"/> 事業計画は、前年度の実施状況の把握や評価を踏まえて策定している。	<input type="radio"/>
理 や	③	事業計画を、職員等の参画のもとで策定されるとともに、実施状況の把握や評価・見直しが組織的に行われている。	b
	b	<input type="checkbox"/> 年度終了時はもとより、年度途中にあっても、あらかじめ定められた時期、手順に基づいて事業計画の実施状況の把握、評価を行っている。	<input type="radio"/>
	<input type="radio"/>	<input type="checkbox"/> 評価の結果に基づいて各計画の見直しを行っている。	
		<input type="checkbox"/> 一連の過程が一部の職員だけで行われていない。	
定 体	④	事業計画を職員に配布するとともに、十分な理解を促すための取組を行っている。	b
		<input type="checkbox"/> 各計画を会議や研修において説明している。	<input type="radio"/>
	a	<input type="checkbox"/> 各計画をメールで配信したり、見やすい場所に掲示するなどの工夫を行っている。	<input type="radio"/>
	<input type="radio"/>	<input type="checkbox"/> 各計画をわかりやすく説明した資料を作成する等によって、より理解しやすいような工夫を行っている。	<input type="radio"/>
ま い	⑤	事業計画を子ども等に配布するとともに、十分な理解を促すための取組を行っている。	b
	<input type="radio"/>	<input type="checkbox"/> 子どもや保護者等に各計画をわかりやすく説明した資料を作成する等によって、より理解しやすいような工夫を行っている。	
	<input type="radio"/>	<input type="checkbox"/> 各計画を子どもや保護者等に資料をもとに説明している。	<input type="radio"/>

(特に評価が高い点、改善が求められる点)

ま	<input type="radio"/>		
い	a		

- ・子ども向けの行事の説明は小グループに分け、ホワイトボードやビデオを活用して事前に理解できるように説明し、小グループでも理解が困難な場合は、個別に理解できるように伝えている。
(改善が求められる点)
- ・事業全体は県の管轄である為、施設運営は県庁が掌握している部分が多いが、施設に任された分についても、理念や方針を全職員が十分に理解するための取り組みとして不十分である。

(3) 施設長の責任とリーダーシップ

①	<p>施設長は、自らの役割と責任を職員に対して明らかにし、専門性に裏打ちされた信念と組織内での信頼をもとにリーダーシップを発揮している。</p> <p><input type="checkbox"/>施設長は、自らの役割と責任について、文書化するとともに、会議や研修において表明している。</p> <p><input type="checkbox"/>施設長は、自らの役割と責任について、広報誌等に掲載して表明している。</p> <p><input type="checkbox"/>平常時のみならず、有事(災害・事故等)における施設長の役割と責任が明確になっている。</p> <p><input type="checkbox"/>施設長は、職員の模範となるよう自己研鑽に励み、専門性の向上に努めている。</p>
②	<p>施設長自ら、遵守すべき法令等を正しく理解するための取組を行い、組織全体をリードしている。</p> <p><input type="checkbox"/>施設長は、法令遵守の観点での施設経営に関する研修や勉強会等に参加している。</p> <p><input type="checkbox"/>施設長は、環境への配慮等も含む幅広い分野について遵守すべき法令等を把握し、リスト化する等の取組を行っている。</p> <p><input type="checkbox"/>施設長は、職員に対して遵守すべき法令等を周知し、また遵守するための具体的な取組を行っている。</p>
③	<p>施設長は、治療・支援の質の向上に意欲を持ち、組織としての取組に十分な指導力を発揮している。</p>

に理解で
る。
王された

	<input type="checkbox"/> 施設長は、実施する治療・支援の質の現状について定期的、継続的に評価・分析を行っている。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 施設長は、治療・支援の質の向上について、職員の意見を取り入れるための具体的な取組を行っている。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 施設長は、治療・支援の質に関する課題を把握し、改善のための具体的な取組を明示して指導力を発揮している。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 施設長は、治療・支援の質の向上について組織内に具体的な体制を構築し、自らもその活動に積極的に参画している。	<input type="radio"/>
④	施設長は、経営や業務の効率化と改善に向けた取組に十分な指導力を発揮している。	a
	<input type="checkbox"/> 施設長は、経営や業務の効率化と改善に向けて、人事、労務、財務等の面から分析を行っている。	
	<input type="checkbox"/> 施設長は、組織の理念や基本方針の実現に向けて、人員配置、職員の働きやすい環境整備等、具体的に取り組んでいる。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 施設長は、上記について、組織内に同様の意識を形成するための取組を行っている。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 施設長は、経営や業務の効率化や改善のために組織内に具体的な体制を構築し、自らもその活動に積極的に参画している。	<input type="radio"/>

第三
評価
果

裏
て

い

確に

てい

い、

して

を把

具体

組に

a (4) 経営状況の把握

①	施設運営をとりまく環境を的確に把握するための取組を行っている。	b
	<input type="checkbox"/> 社会的養護の動向について、具体的に把握するための方法を持っている。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 子どもの数や子どもの状況等について、施設が位置する地域での特徴・変化等を把握している。	
	<input type="checkbox"/> 治療・支援のニーズ、潜在的な保護を要する子どもに関するデータ等を収集している。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 把握された情報やデータが、中・長期計画や各年度の事業計画に反映されている。	
②	運営状況を分析して課題を発見するとともに、改善に向けた取組を行っている。	b
	<input type="checkbox"/> 定期的に治療・支援のコスト分析や子どもの数の推移、入所率等の分析を行っている。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 改善に向けた取組が、中・長期計画や各年度の事業計画に反映されている。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 運営状況や改善すべき課題について、職員に周知し、職員の意見を聞いたり、職員同士の検討の場を設定する等、施設全体で取組を行っている。	

a

a

③ 外部監査（外部の専門家による監査）を実施し、その結果に基づいた運営改善が実施されている。

事業規模に応じ、定期的に（2年あるいは5年に1回程度）、外部監査を受けるよう努めている。

外部監査の結果や、公認会計士等による指導や指摘事項に基づいて、運営改善を実施している。

た	a	(特に評価が高い点、改善が求められる点) 施設長は公私共に積極的に研修に参加し、専門性の向上に努め、組織としての治療・支援の向上に 指導力を発揮している。
よ	○	法令の遵守・理解にあたっては必要に応じ、全職員にメール送信や、配信をし徹底を図っている。 公認会計士による外部監査を実施している。
改	○	(改善が求められる点) 職員の配置基準は改善されたものの、子どもの内容がそれ以上に重篤化し、子どもの破壊行為や緊 時の人的対応は十分ではなく、必要な人員の確保が求められる。

(5) 人事管理の体制整備		第三者 評価結 果
①	施設が目標とする治療・支援の質を確保するため、必要な人材や人員 体制に関する具体的なプランが確立しており、それに基づいた人事管 理が実施されている。	b
	<input type="checkbox"/> 必要な人材や人員体制に関する基本的な考え方や、人事管理に関する方針が 確立している。	
	<input type="checkbox"/> 社会福祉士等の有資格職員の配置や心理職等の専門職の確保等、必要な人 材や人員体制について具体的なプランがある。	○
	<input type="checkbox"/> プランに基づいた人事管理が実施されている。	○
	<input type="checkbox"/> 各種加算職員の配置に積極的に取組、人員体制の充実に努めている。	
	<input type="checkbox"/> 職員が、各職種の専門性や役割を理解し合い、互いに連携して組織として治 療・支援に取り組む体制が確立している。	
	<input type="checkbox"/> 基幹的職員、家庭支援専門相談員等の機能を活かしている。	○
②	客観的な基準に基づき、定期的な人事考課が行われている。	a
	<input type="checkbox"/> 人事考課の目的や効果を正しく理解している。	○
	<input type="checkbox"/> 考課基準を職員に明確に示すことや、結果の職員へのフィードバック等の具 体的な方策によって客観性や透明性の確保が図られている。	○

③	<p>職員の就業状況や意向を定期的に把握し、必要があれば改善に取り組む仕組みが構築されている。</p> <p><input type="checkbox"/> 職員の有給休暇の消化率や時間外労働のデータ、疾病状況を定期的にチェックしている。</p> <p><input type="checkbox"/> 把握した職員の意向・意見や就業状況チェックの結果を、分析・検討する担当者や担当部署等を設置している。</p> <p><input type="checkbox"/> 分析した結果について、改善策を検討する仕組みがある。</p> <p><input type="checkbox"/> 改善策については、人材や人員体制に関する具体的なプランに反映し実行している。</p> <p><input type="checkbox"/> 定期的に職員との個別面接の機会を設ける等、職員が相談しやすいような組織内の工夫をしている。</p> <p><input type="checkbox"/> 希望があれば職員が相談できるように、カウンセラーや専門家と連携している。</p> <p><input type="checkbox"/> 困難なケースの抱え込みの防止や休息の確保などに取り組んでいる。</p>
④	<p>職員処遇の充実を図るため、福利厚生や健康を維持するための取組を積極的に行っている。</p> <p><input type="checkbox"/> 職員の希望の聴取等をもとに、福利厚生センターへの加入等、総合的な福利厚生事業を実施している。</p> <p><input type="checkbox"/> 職員の悩み相談窓口を組織内に設置し、又は、関係機関と連携して、解決に向けた体制が整備されている。</p> <p><input type="checkbox"/> 職員の心身の健康に留意し、定期的に健康診断を行っている。</p> <p><input type="checkbox"/> 臨床心理士や精神科医などに職員が相談できる窓口を施設内外に確保するなど、職員のメンタルヘルスに留意している。</p>

(6) 実習生の受入れ

①	<p>実習生の受入れと育成について、基本的な姿勢を明確にした体制を整備し、効果的なプログラムを用意する等積極的な取組をしている。</p> <p><input type="checkbox"/> 実習生受入れに関する意義・方針を明文化している。</p> <p><input type="checkbox"/> 実習生受入れに関する意義・方針を会議等で職員に説明し、全職員が理解している。</p> <p><input type="checkbox"/> 実習生の受入れについて、受入れについての連絡窓口、事前説明、オリエンテーションの実施方法等の項目が記載されたマニュアルが整備されている。</p> <p><input type="checkbox"/> 受入れに当たっては、学校等との覚書を取り交わす等によって、実習における責任体制を明確にしている。</p>
---	--

組	a	<input type="checkbox"/> 実習指導者に対する研修を実施している。	<input type="checkbox"/>
エツ	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 実習内容全般を計画的に学べるようなプログラムを用意している。	<input type="checkbox"/>
当者	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 学校等と、実習内容について連携してプログラムを整備するとともに、実習期間中においても継続的な連携を維持していくための工夫を行っている。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 学校等と連携しながら、実習内容全般を計画的に学べるプログラムを策定している。	<input type="checkbox"/>
して		<input type="checkbox"/> 社会福祉士等の種別に配慮したプログラムを用意している。	

(特に評価が高い点、改善が求められる点)
 意向については各職員がそれぞれ専門職であることから、個々の要望を丁寧に聞きとり改善に取り組んだり、県へ要望を提出している。
 実習生については、限られた職員数ではあるが、社会的責任の下に、保育士や福祉大学の施設実習受け入れている。専門職に関しては子どもの特性を踏まえ対象者を「将来、施設勤務を希望する心職(大学院生)」に限定し、受け入れ体制を確立して積極的に取り組んでいる。

組を	b		
利厚	<input type="checkbox"/>		
に向	<input type="checkbox"/>		
	<input type="checkbox"/>		
るな			

7) 標準的な実施方法の確立		第三者評価結果
を整	a	b
	<input type="checkbox"/> ① 治療・支援について標準的な実施方法を文書化し、職員が共通の認識を持って行っている。	
擇して	<input type="checkbox"/> □標準的な実施方法を職員に周知し、共通の認識を持って一定の水準の治療・支援を行っている。	<input type="checkbox"/>
ン	<input type="checkbox"/> □標準的な実施方法について、研修や個別の指導等によって職員に周知徹底するための方策を講じている。	<input type="checkbox"/>
ける	<input type="checkbox"/> □標準的な実施方法には、子どもの尊重やプライバシー保護の姿勢が明示されている。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> □標準的な実施方法に基づいて実施されているかどうかを確認する仕組みがある。	

	<input type="checkbox"/> マニュアルは、子どもの状態に応じて職員が個別に柔軟に対応できるものとしている。	
②	標準的な実施方法について、定期的に検証し、必要な見直しを組織的に実施できるよう仕組みを定め、検証・見直しを行っている。	b
	<input type="checkbox"/> 治療・支援の標準的な実施方法の見直しに関する時期やその方法が施設で定められている。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 見直しの時期は、少なくとも1年に1回は検証し、必要な見直しを行う。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 標準的な実施方法の見直しに当たり、職員や子ども等からの意見や提案が反映されるような仕組みになっている。	
(8) 評価と改善の取組		
①	施設運営や治療・支援の内容について、自己評価、第三者評価等、定期的に評価を行う体制を整備し、機能させている。	a
	<input type="checkbox"/> 評価に関する担当者・担当部署が設置されている。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 職員の参画による評価結果を分析・検討する場が、施設として定められ実行されている。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 3年に1回以上第三者評価を受けるとともに、定められた評価基準に基づいて、毎年自己評価を実施している。	<input type="radio"/>
②	評価の結果を分析し、施設として取り組むべき課題を明確にし、改善策や改善実施計画を立て実施している。	b
	<input type="checkbox"/> 職員の参画により評価結果の分析を行っている。	
	<input type="checkbox"/> 分析した結果やそれに基づく課題が文書化されている。	
	<input type="checkbox"/> 職員間で課題の共有化が図られている。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 評価結果から明確になった課題について、職員の参画のもとで改善策や改善実施計画を策定する仕組みがある。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 改善策や改善実施計画の実施状況の評価を実施するとともに、必要に応じて計画の見直しを行っている。	

(特に評価が高い点、改善が求められる点)

行う仕組みがあり、機能させている。

が個別に柔軟に対応でき

・検証し、必要な見直し
・見直しを行っている

に関する時期やその方法

検証し、必要な見直しを行

員や子ども等からの意見

て、自己評価、第三者
にさせている。

れている。

とする場が、施設として定め

る。また、定められた評価基準

に基づき、取り組むべき課題を明確
にする。

っている。

標準化されている。

に、職員の参画のもとで改善

評価を実施するとともに、必